

阪神・淡路大震災関連資料収集等の
現状について

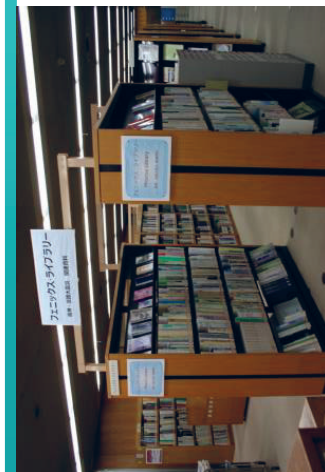
—兵庫県立図書館の取組について—

兵庫縣立圖書館

昭和49(1974)年10月	開館	「フェニックス・ライブラリー」開設
平成7(1995)年11月	来館者数100万人到達	
平成9(1997)年1月	来館者への直接貸出開始	
平成13(2001)年11月	来館者数200万人到達	
平成16(2004)年8月	蔵書冊数50万冊突破	
平成17(2005)年3月	インターネットによる貸出予約・	
平成19(2007)年4月	県立及び市町立図書館での受取開始	
平成21(2009)年5月	「兵庫ゆかりのコーナー」開設	
平成22(2010)年6月	学校サポートプロジェクト開始	
平成24(2012)年1月	ひょうご図書館情報ネットワークシステムに更新	



兵庫縣立圖書館



阪神・淡路大震災に関する資料や記録を残すために平成7(1995)年11月開設

所藏資料 圖書：約2,300點

雜誌：約400點

チラシ・パンフレット:約4,900点

その他(ポスター・地図・空中写真・ビデオテープ他):約1,000点

(平成24年3月31日現在)

フェニックス・ライブラリー震災関連雑誌記事索引



平成17(2005)年1月よりHP上で公開 索引データ件数:約5,500件

<https://www.library.pref.hyogo.lg.jp/winj/opac/search-original-a.do?lang=ja>

(平成24年3月31日現在)

「フェニックス・ライブラリー」の活用と連携 1

フェニックス・ライブラリー震災関連雑誌記事索引

検索条件入力

検索結果表示

検索結果一覧

検索結果詳細

5

「フェニックス・ライブラリー」の活用と連携 2

神戸大学附属図書館「震災文庫」震災資料横断検索へのデータ提供

神戸大学附属図書館

震災文庫

震災資料横断検索

6

24

「フェニックス・ライブラリー」の活用と連携 3

阪神・淡路大震災関連図書デジタル化

期 間：平成23年8月～平成24年3月 作業員：4名

対象資料：当館「フェニックス・ライブラリー」が所蔵する阪神・淡路大震災関連図書

約2,300タイトルのうち、デジタル化に係る許諾が得られたもの

優先した資料：兵庫県行政資料、兵庫県関係団体発行資料

例 『図書館の1.17』 兵庫県図書館協会 編 1997刊

『編集震災復興への道』 兵庫県震災復興研究センター 編 1995刊

『被災世帯健康調査報告書 平成10年度』 兵庫県健康福祉部 編 1999刊

デジタル化処理済数：304タイトル （平成24年3月31日現在）

①資料をデジタル化して保管すること 304/304タイトル

②デジタル化した資料を東日本大震災被災地の公共機関や団体などに提供すること 230/304タイトル

③デジタル化した資料を当館HPに公開すること 200/304タイトル

兵庫県立図書館

7

「フェニックス・ライブラリー」の活用と連携 3

阪神・淡路大震災関連図書のデジタル化

今後の予定

平成25年度 阪神・淡路大震災関連図書のデジタル化とシステム構築

対象資料：当館「フェニックス・ライブラリー」が所蔵する阪神・淡路大震災関連図書のデジタル化

優先する資料：県下市町の行政資料、兵庫県関係団体発行資料

デジタル化対象数：400団体 600タイトル

平成26年度～ 「フェニックス・ライブラリー」の図書データと許諾が得られたデジタル化資料をリンクさせインターネットで提供、他機関とのシステム連携

兵庫県立図書館

8

兵庫県立図書館 企画展示の開催



兵庫県立図書館 企画展示の開催



独立行政法人海洋研究開発機構により自己向上型海底型展示やパネル等を活用。

兵庫県立図書館 震災関連講座の開催



- 震災資料の有効活用・・・企画展示、震災関連講座等の継続的な開催と新たな活用方法の検討
- ・東日本大震災被災図書館との連携強化・・・震災資料の相互貸借等の実施
- 震災資料のデジタル化・システム運営費・・・継続的な予算措置

震災

—防災・減災—

昨年 8 月 29 日、内閣府は東海沖から四国沖の「南海トラフ」沿いで巨大地震が起きた場合、最大約 32 万人が死亡するとの被害想定を発表した。しかし、発生直後に全員が避難開始すれば、津波による死者は最大で約 9 割減るとしている。

災害を未然に防ぐ「防災」、災害が起きてしまった場合に被害を最小限にとどめるための取り組み「減災」 —

過去の震災を教訓として、防災・減災を考える。



津波で被害を受けた石巻市雄勝地区
(財) 消防科学総合センター 災害写真データベースより



阪神・淡路大震災で倒れた雑居ビル
(財) 消防科学総合センター 災害写真データベースより

期 間：2013 年 1 月 18 日(金)～3 月 20 日(水)

場 所：兵庫県立図書館 調査相談室

時 間：午前 9 時 30 分～午後 6 時

休館日：毎週月曜日、第 3 木曜日

特別整理期間(2 月 21 日(木)～3 月 1 日(金))

兵庫県立図書館 利活用講座 震災関連企画

2つの震災の経験を通して学ぶこと

平成25年1月12日(土)

13:30~16:00

第1部 その時学校で、必要なこと

震災時の学校支援例から、危機管理に重要な視点を学ぶ

EARTH(震災・学校支援チームスタッフ) 馬越 顕

兵庫県立相生産業高等学校 主幹教諭

兵庫県姫路市夢前町消防団 上菅分団 前分団長

第2部 図書館からはじまる復興

阪神・淡路大震災の経験から、東日本への支援に生きたこと

八尾市立山本図書館 司書 喜多 由美子

場 所：兵庫県立図書館 1階 第2研修室

定 員：40人（事前申込）

申込・問合先：兵庫県立図書館 協力課

〒673-8533 明石市明石公園1番27号

TEL 078-918-3366（代） FAX 078-918-2500